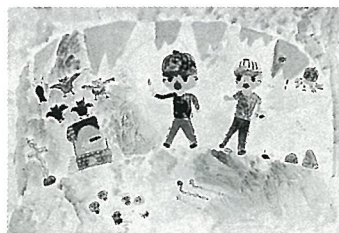




4年 松岡 拓弥くん



『たんけん』

※どうくつをた
んけんして、
宝物を見つけ
たところをか
きました。



1年 寺澤 靖裕くん



『おでかけバッグ』

※ほくは「むし
むしバッグ」
をつくりまし
た。虫をきる
のがむずかし
いです。

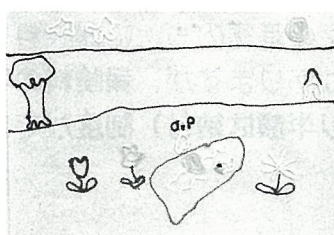
竹笛

伊藤 彩



5年 伊藤 彩さん

※字配りに気を
つけて書いて
みたらいつも
より上手に書
くことができました。



『月を見ている犬』



2年 大木沙耶香さん

※犬のからだや、
雲をつくるの
がたいへんで
した。

あつまれみんなの力作



6年 伊藤 彩奈さん

※字のバランス
を考えて書き
ました。

アジアの仲間

伊藤 彩奈



3年 畔蒜 一輝くん

※たてがみがふ
わふわの馬を
作りました。
木にくぎを打
つのがむずか
しかったです。



『じょうぶな馬』

ひかり歌壇



竹内 キヨ(上 原)

菊萎えて冬づく庭の寒椿

紅冨へて花咲き満つる

冬枯れの庭に寒椿の紅が殊更に美
しい

越川 義則(二 又)

山吹の実のらぬ恋のいい伝へ

齡い重ねて感謝あるのみ

太田道灌は雨宿りした少女に体よ
く断られたが自分は共に年を重ね
ることができた

安田 和子(作間内)

無洗米濯ぐだけとの注意書き

見つつ研ぎおり無意識のうち

注意書きを読みながら手は今まで
通り動いている

越川 福子(宮 内)

寒々と枝をさらせし老梅の

巳にふっくら蕾つけをり

枝をさらしている老梅も蕾をふく
らませている

鈴木 益郎(原 方)

つきぬ思いを異国の果てに

たち切れ口惜しかろうよBC級戦犯

勝利を信じ戦場を駆け巡った果て
に戦犯として裁かれた無念さ

評者詠 鈴木甲子幸

伝統のわが家の行事受け継ぎて
亡妻なせるごと嫁はなしをり